



# インストールの確認とインストール後のタスク

---

- [Cisco ISE の Web ベースのインターフェイスへのログイン \(1 ページ\)](#)
- [Cisco ISE の設定の確認 \(4 ページ\)](#)
- [インストール後のタスクの一覧 \(6 ページ\)](#)

## Cisco ISE の Web ベースのインターフェイスへのログイン

初めて Cisco ISE Web ベースのインターフェイスにログインするときは、事前にインストールされている評価ライセンスを使用します。



(注) Cisco ISE ユーザ インターフェイスを使用して、定期的に管理者ログイン パスワードをリセットすることをお勧めします。

---



注意 セキュリティ上の理由から、管理セッションの完了時には、ログアウトすることをお勧めします。ログアウトしない場合、30 分間何も操作しないと Cisco ISE の Web インターフェイスからログアウトされ、送信されていない設定データは保存されません。

---

### 始める前に

Cisco ISE 管理者ポータルは管理者ポータル用に次のブラウザをサポートしています。

- Mozilla Firefox 72 以前のバージョン
- Mozilla Firefox ESR 60.9 以前のバージョン
- Google Chrome 80 以前のバージョン
- Microsoft Edge ベータ 77 以前のバージョン

- Microsoft Internet Explorer 10.x および 11.x

Internet Explorer 10.x を使用する場合は、TLS 1.1 と TLS 1.2 を有効にし、SSL 3.0 と TLS 1.0 を無効にします ([インターネットオプション (Internet Options)] > [詳細設定 (Advanced)] )。

---

**ステップ 1** Cisco ISE アプライアンスのリブートが完了したら、サポートされている Web ブラウザの 1 つを起動します。

**ステップ 2** アドレス フィールドに、Cisco ISE アプライアンスの IP アドレス (またはホスト名) を次のフォーマットを使用して入力し、Enter を押します。

```
https://<IP address or host name>/admin/
```

**ステップ 3** 設定時に定義したユーザ名とパスワードを入力します。

**ステップ 4** [ログイン (Login)] をクリックします。

---

## CLI 管理と Web ベースの管理ユーザ タスクの違い

Cisco ISE セットアップ プログラムを使用して設定したユーザ名およびパスワードは、Cisco ISE CLI および Cisco ISE Web インターフェイスでの管理アクセスで使用するためのものです。Cisco ISE CLI にアクセスできる管理者を CLI 管理ユーザといいます。デフォルトでは、CLI 管理ユーザのユーザ名は admin、パスワードはセットアッププロセスでユーザが定義したパスワードです。デフォルトのパスワードはありません。

Cisco ISE Web インターフェイスへの最初のアクセスは、セットアッププロセスで定義した CLI 管理ユーザのユーザ名、およびパスワードを使用して行うことができます。Web ベース admin のデフォルトのユーザ名およびパスワードはありません。

CLI 管理ユーザは、Cisco ISE の Web ベースの管理ユーザ データベースにコピーされます。最初の CLI 管理ユーザのみが Web ベースの管理ユーザとしてコピーされます。両方の管理ロールで同じユーザ名とパスワードを使用できるように、CLI と Web ベースの管理ユーザ ストアは同期を保持する必要があります。

Cisco ISE CLI 管理ユーザは、Cisco ISE Web ベースの管理ユーザとは異なる権限と機能を持ち、他の管理タスクを実行できます。

表 1: CLI 管理ユーザおよび Web ベース管理ユーザによって実行されるタスク

管理ユーザタイプ	タスク
CLI 管理および Web ベース管理の両方	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Cisco ISE アプリケーションデータをバックアップする。</li> <li>• Cisco ISE アプライアンス上でシステム、アプリケーション、または診断ログを表示する。</li> <li>• Cisco ISE ソフトウェアパッチ、メンテナンスリリース、およびアップグレードを適用する。</li> <li>• NTP サーバコンフィギュレーションを設定する。</li> </ul>
CLI 管理のみ	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Cisco ISE アプリケーションソフトウェアを起動および停止する。</li> <li>• Cisco ISE アプライアンスをリロードまたはシャットダウンする。</li> <li>• ロックアウトした場合、Web ベースの管理ユーザをリセットする。</li> <li>• ISE CLI にアクセスする。</li> </ul>

## CLI 管理者の作成

Cisco ISE では、セットアッププロセスで作成した CLI 管理ユーザアカウントに加え、追加の CLI 管理ユーザアカウントを作成することができます。CLI 管理ユーザのクレデンシャルを保護するために、Cisco ISE CLI アクセスに必要な CLI 管理ユーザの作成数は最低限にします。

CLI 管理者ユーザを追加するには、次のコマンドをコンフィギュレーションモードで使用します。

```
username <username> password [plain/hash] <password> role admin
```

## Web ベースの管理者の作成

Cisco ISE システムに初めて Web によるアクセスを行う場合、管理者のユーザ名とパスワードはセットアップ時に設定した CLI ベースのアクセスと同じです。

管理者ユーザを追加するには、次の手順を実行します。

1. [管理 (Administration) ]>[システム (System) ]>[管理者アクセス (Admin Access) ]>[管理者 (Administrators) ]>[管理者ユーザ (Admin Users) ]を選択します。

2. [追加 (Add)] > [管理者ユーザの作成 (Create an Admin User)] を選択します。
3. 名前、パスワード、管理者グループ、およびその他の必要な詳細情報を入力します。
4. [送信 (Submit)] をクリックします。

## 管理者のロックアウトにより無効化されたパスワードのリセット

管理者が、誤ったパスワードをアカウントが無効になる所定の回数入力する場合があります。デフォルトの最小試行回数は5です。

次の手順によって、Cisco ISE CLI で **application reset-passwd ise** コマンドを使用して、管理者ユーザインターフェイスパスワードをリセットします。このコマンドは、管理者の CLI のパスワードには影響を与えません。正常に管理者パスワードをリセットすると、クレデンシャルはただちにアクティブになり、システムをリブートせずにログインできます。

Cisco ISE は、[モニタ (Monitor)] > [レポート (Reports)] > [カタログ (Catalog)] > [サーバインスタンス (Server Instance)] > [サーバインスタンス (Server Instance)] > [サーバ管理者ログイン (Server Administrator Logins)] レポートにログエントリを追加し、その管理者 ID に関連付けられたパスワードをリセットするまで、その管理者 ID のクレデンシャルを一時停止します。

**ステップ 1** ダイレクト コンソール CLI にアクセスして、次を入力します。

```
application reset-passwd ise administrator_ID
```

**ステップ 2** この管理者 ID に使用されていた前の 2 つのパスワードと異なる新しいパスワードを指定して、確認します。

```
Enter new password:
Confirm new password:

Password reset successfully
```

## Cisco ISE の設定の確認

Web ブラウザおよび CLI を使用して Cisco ISE 設定を確認するための、それぞれ異なるユーザ名およびパスワードクレデンシャルのセットを使用する 2 通りの方法があります。



(注) CLI 管理ユーザと Web ベースの管理ユーザのクレデンシャルは、Cisco ISE では異なります。

## Web ブラウザを使用した設定の確認

- ステップ 1** Cisco ISE アプライアンスのリポートが完了したら、サポートされている Web ブラウザの 1 つを起動します。
- ステップ 2** アドレス フィールドに、Cisco ISE アプライアンスの IP アドレス（またはホスト名）を次のフォーマットを使用して入力し、Enter を押します。
- ステップ 3** Cisco ISE のログイン ページで、セットアップ時に定義したユーザ名とパスワードを入力し、[ログイン (Login)] をクリックします。

たとえば、`https://10.10.10.10/admin/` と入力すると Cisco ISE のログイン ページが表示されます。

`https://<IP address or host name>/admin/`

(注) Cisco ISE システムに初めて Web によるアクセスを行う場合、管理者のユーザ名とパスワードはセットアップ時に設定した CLI ベースのアクセスと同じです。

- ステップ 4** アプライアンスが正しく動作していることを確認するには、Cisco ISE ダッシュボードを使用します。

### 次のタスク

Cisco ISE の Web ベースのユーザ インターフェイス メニューを使用して、Cisco ISE システムをニーズに合わせて設定できます。Cisco ISE の設定の詳細については、『*Cisco Identity Services Engine Administrator Guide*』を参照してください。

## CLI を使用した設定の確認

### 始める前に

最新の Cisco ISE のパッチを取得して Cisco ISE を最新の状態に保つには、次の Web サイトを参照してください。 <https://software.cisco.com/download/home/283801620/type>

- ステップ 1** Cisco ISE アプライアンスのリポートが完了したら、PuTTY などのサポートされる製品を起動して、Cisco ISE アプライアンスへの Secure Shell (SSH) 接続を確立します。
- ステップ 2** [ホスト名 (Host Name)] (または [IP アドレス (IP Address)]) フィールドにホスト名 (または Cisco ISE アプライアンスのドット付き 10 進表記の IP アドレス) を入力し、[開く (Open)] をクリックします。
- ステップ 3** ログインプロンプトで、セットアップ時に設定した CLI 管理ユーザ名 (admin がデフォルト) を入力し、Enter を押します。
- ステップ 4** パスワードプロンプトで、セットアップ時に設定した CLI 管理パスワード (これはユーザ定義でデフォルトはありません) を入力し、Enter を押します。
- ステップ 5** システムプロンプトで **show application version ise** と入力し、Enter を押します。

(注) [バージョン (Version)] フィールドに、Cisco ISE ソフトウェアに現在インストールされているバージョンが表示されます。

コンソール出力は次のように表示されます。

```
ise/admin# show application version ise

Cisco Identity Services Engine
-----
Version       : 2.4.0.226
Build Date    : Fri Nov 24 17:36:37 2017
Install Date  : Thu Nov 30 21:40:54 2017
```

**ステップ 6** Cisco ISE プロセスの状態を調べるには、**show application status ise** と入力し、Enter を押します。

コンソール出力は次のように表示されます。

```
ise-server/admin# show application status ise

ISE PROCESS NAME                STATE                PROCESS ID
-----
Database Listener               running             4930
Database Server                 running             66 PROCESSES
Application Server               running             8231
Profiler Database               running             6022
ISE Indexing Engine              running             8634
AD Connector                     running             9485
M&T Session Database            running             3059
M&T Log Collector                running             9271
M&T Log Processor                running             9129
Certificate Authority Service    running             8968
EST Service                      running             18887
SXP Engine Service              disabled
TC-NAC Docker Service           disabled
TC-NAC MongoDB Container        disabled
TC-NAC RabbitMQ Container       disabled
TC-NAC Core Engine Container    disabled
VA Database                     disabled
VA Service                      disabled
pxGrid Infrastructure Service     disabled
pxGrid Publisher Subscriber Service disabled
pxGrid Connection Manager        disabled
pxGrid Controller               disabled
PassiveID Service               disabled
DHCP Server (dhcpd)             disabled
DNS Server (named)              disabled
```

## インストール後のタスクの一覧

Cisco ISE をインストールした後、次の必須タスクを実行する必要があります。

表 2: インストール後の必須タスク

タスク	アドミニストレーションガイドのリンク
最新のパッチの適用（存在する場合）	<a href="#">「Install a Software Patch」</a>

タスク	アドミニストレーションガイドのリンク
ライセンスのインストール	詳細については、『 <a href="#">Cisco ISE Ordering Guide</a> 』を参照してください。ライセンスの登録の方法については、『 <a href="#">Administration Guide</a> 』を参照してください。
証明書のインストール	詳細については、『 <a href="#">Cisco ISE Administration Guide</a> 』の「 <a href="#">Manage Certificates</a> 」の章を参照してください。
バックアップのリポジトリの作成	詳細については、『 <a href="#">Cisco ISE Administration Guide</a> 』の「 <a href="#">Create Repositories</a> 」のセクションを参照してください。
バックアップ スケジュールの設定	詳細については、『 <a href="#">Cisco ISE Administration Guide</a> 』の「 <a href="#">Schedule a Backup</a> 」のセクションを参照してください。
Cisco ISE ペルソナのデプロイメント	『 <a href="#">Cisco ISE Administration Guide</a> 』の「 <a href="#">Set Up Cisco ISE in a Distributed Environment</a> 」の章を参照してください。

